

はばだけ! JTサンダーズ広島



竹田 英司

福山大会（2月20、21日）の出發前、陳建禎選手がチームバスの乗り口に立っているのが見えた。準備を済ませて私がバスに乗り込むと、最前列の陳さんの席に武智洸史選手が座っていた。

足を痛めた武智選手に自分の席を譲り、陳さんは普段、武智選手が座る最後尾の席に移動していた。電話や口頭で事前に伝えると年下の武智選手が遠慮すると見越し、バスの前で無理やり席を譲っ

陳さんの心づかい



たのだろう。「陳さん、あんたどこまでいい人なんだよ」と私は心の中で涙した。

福山のホテルに到着すると、陳さんから「食事会場の近くにあるピアノを弾いていい？」と聞かれたので、ホテルの方に問い合わせたが断られた。それを伝えると「どうして弾いちゃ駄目なの」と残念そうだった。コロナが落ち着いたら、陳さんの部屋でピアノ演奏を聴かせてほしいものだ。

福山大会2戦目では、金子聖輝選手がついにVリーグ初先発。運動会に出場するわが子を見守る気分だった。試合序盤は緊張のせいかミスが目立ったものの、セッターとして何とか試合をつくったことは、今後のチームにとって希望の光となったと思う。

敗戦後の円陣で合田心平選手が「みんな悔しいだろうけど、写真撮影の時は別だから。最高の笑顔をお客さんに見せよう」と副主将らしい声掛けをした。サイン会がないにもかかわらず、会場で応援してくださったファンの皆さまに感謝申し上げたい。

（JT広島マネジャー）

Vリーグ初先発を果たし、エドガー選手（右から3人目）からねぎらわれる金子選手（同4人目）
（2月21日）

